



発行所
高知県立盲学校
高知市大膳町 6-32
TEL 088-823-8721
mo-s@kochinet.ed.jp

**決意を新たに
学校創立90周年記念式典挙行**

平成31年2月3日（日）に学校創立90周年記念式典を本校体育館において挙行いたしました。

記念式典には、高岸憲二（教育次長）様、橋本典子（特別支援教育課長）様、細木秀美（仁生会理事長）様をはじめ、歴代の学校長、各特別支援学校長、各関係団体の皆様にご臨席をいただき、同窓生、保護者、在校生、教職員が出席し、盛大に行われました。

まず、これまでにお亡くなりになりました関係者の御霊に対し、出席者全員で黙祷を行いました。



高岸教育次長挨拶

おいてご厚情をいただいた皆様に対し、謝状の贈呈を行いました。



八木校長の式辞を述べる

八木校長の式辞を述べる。八木校長は、学校長として、高知県教養委員会委員長、後、社会医療法人仁生会理事長、細木秀美様より、次世代を担う生徒たちへの期待と激励の言葉をいただきました。



浦宗実行委員会副委員長挨拶をする



祝辞を述べられる細木理事長

実行委員会挨拶、学校長式辞、高知県教養委員会挨拶、後、社会医療法人仁生会理事長、細木秀美様より、次世代を担う生徒たちへの期待と激励の言葉をいただきました。

高知県立盲学校の沿革

昭和4年2月20日

文部大臣より高知県立盲啞学校の設立が認可される。この日を創立記念日とする。

昭和4年4月16日

高知県立高知第一高等女学校寄宿舎を仮校舎とし、盲部4学級、聾啞部2学級を置く。



久しぶりの再会記念祝賀会



堀内さんによる記念コンサート



また、市内のホテルで記念祝賀会を開催し、久しぶりに再会する教職員や同窓生が懐かしい話に花を咲かせました。



記念式典終了後には、本校卒業生の堀内 佳さんによる記念コンサートが行われ、歌やトークで創立記念を盛り上げていただきました。

ました。最後に生徒代表の高等部専攻科理療科2年 鶴川亮太くんが、盲学校創立にご尽力いただいた先人の熱い思いや諸先輩方の意志を引き継ぎ、盲学校が更に発展するように努力するという決意を述べました。

級を置く。

昭和4年7月13日

高知市江の口裏別当の新校舎に移転する。

昭和5年2月25日

鍼術、灸術、按摩術、マッサージ営業資格試験検定指定学校として認可される。

昭和7年8月31日

高知県盲啞教育協会が寄宿舎を建設し、昭和10年4月県移管となる。

昭和15年4月20日

火災により、校舎の大部分を焼失したので寄宿舎を仮校舎に当てる。

昭和16年9月8日

焼跡に新校舎落成し、移転する。

昭和20年7月4日

高知市大空襲により校舎、寄宿舎全焼職員生徒全員無事避難する。

昭和20年7月15日

高岡郡黒岩村国民学校に疎開する。

昭和20年8月31日

高知市新本町マリア園を仮校舎として授業を再開する。

昭和21年7月28日

焼跡に仮校舎落成し、移転する。

昭和23年4月1日

盲聾教育義務制実施と同時に盲、ろう分離し高知県立盲学校と改称する。

昭和23年4月21日

高知市越前町元師範学校寄宿舎に移転し、仮校舎とする。（現在地）

昭和25年5月24日

高知市越前町51番地に新校舎落成し、移転する。

昭和27年2月9日

文部大臣よりあん摩師、はり師、きゆう師養成学校として認定される。

昭和37年1月10日

ろう学校の移転により、その校舎の一部を接收し、使用し始める。

昭和48年4月1日

高等部の新教育課程の趣旨に添い、普通科、保健医療科、専攻科理療科を新設。

昭和54年3月31日

寄宿舎（れいめい寮）新築落成。鉄筋コンクリート3階一部2階建（970・25㎡）。

昭和55年6月13日

校舎第一期工事完成、鉄筋コンクリート3階一部4階（3,619・38㎡）

昭和56年3月31日

体育館棟等第二期工事完成。鉄筋コンクリート2階（2,496㎡）

昭和56年11月15日

創立50周年並びに建築総合落成記念式典を挙げる。

昭和58年4月1日

幼稚部設置される。

昭和59年3月26日

寄宿舎敷地内に自活訓練棟完成。

平成元年2月19日

創立60周年記念式典を挙げる。

平成4年3月31日

プール及び付属施設完成。（25m・4コース）

平成5年11月16日

寄宿舎増築工事完成。プレイルーム、洗濯洗面所、便所を増築。

平成6年12月7日

グラウンド整地工事完成。

平成11年1月31日

創立70周年記念式典を挙げる。

平成13年6月15日

ルミエールサロン（視覚障害者対象支援補助具展示室）オープン。

平成17年7月21日

第12回中国・四国地区盲学校体育大会を本校において開催する。

平成20年8月25日

中国・四国地区盲学校教育研究大会を本校において開催する。

平成21年1月25日

創立80周年記念式典を挙げる。

平成21年8月31日

寄宿舎耐震補強工事完成

平成22年1月15日

本館耐震補強工事完成

平成22年8月27日

寄宿舎外壁改修工事完成

平成23年1月11日

避難器具（垂直式救助袋）取替及び撤去工事完成

平成24年3月27日

本館屋上防水工事完成

平成26年7月31日

第89回平成26年度全日本盲学校教育研究大会・高知大会を開催する。

平成27年6月19日

第41回中国・四国地区盲学校弁論大会を本校において開催する。

平成28年1月31日

本館昇降機改修工事完成

平成28年3月31日

空調設備及び災害時空調用自家発電設備設置工事完成

平成28年12月2日

飛散防止フィルム貼付工事完成

平成29年1月6日

体育館棟食堂他改修工事完成

平成29年7月21日

体育館床改修工事完成

平成29年7月21日

第24回中国・四国地区盲学校体育大会を本校において開催する。

平成30年3月22日

幼児児童生徒昇降所・ヘレンケラー像改修工事完成

平成31年1月10日

ブロック塀等改修工事完成

平成31年2月3日

創立90周年記念式典を挙げる。

平成31年2月3日

創立90周年記念式典を挙げる。

平成31年2月3日

創立90周年記念式典を挙げる。

平成31年2月3日

創立90周年記念式典を挙げる。

平成31年2月3日

創立90周年記念式典を挙げる。

ダブル入賞
高等部普通科3年 山本 麻琴



10月13日(土)～15日(月)まで福井県で開催された第18回全国障害者スポーツ大会(福井しあわせ元気大会2018)に本校高等部普通科3年生の山本麻琴さんが高知県代表として水泳競技に出場し、全国から強豪選手が参加する中、女子25m自由形、女子50m自由形においてダブル入賞を果たしました。

大会に向けての練習期間は短かったですが、県の強化練習等に参加するなど、一生懸命取り組んだ結果、その努力が実を結んだと思います。また、その成績を受け、平成30度高知県児童生徒表彰、平成30公益財団法人高知県体育協会表彰、平成30高知市スポーツ賞の各賞を受賞しました。

【競技成績】

- 女子25m自由形(区分24) 記録 20秒36 第1位
- 女子50m自由形(区分24) 記録 48秒88 第2位

平成30年度人権作文コンテスト
最優秀賞(高知県教育長賞)受賞

平成30年度人権作文コンテスト(主催 高知地方法務局 高知県教育委員会 高知県人権擁護委員連合会)に本校高等部普通科1年の宮平陸斗くんが応募し、高校の部において最高位である最優秀賞(高知県教育長賞)に輝きました。

「障害者の立場」

高等部普通科1年 宮平 陸斗



僕は生まれつき小眼球症です。右目は義眼左目は視力0.1程度で生活

しています。小さい頃はよく、「宮平くんって目が悪いのがんばっているんな物を見ようね。」や、「宮平くんは目が悪いけど、すごい努力して普通のひとと一緒に過ごせようね。」などと、褒めてもらうことがたくさんありました。当時の僕は、その言葉で勇気ややる気をもらっていました。しかし、今考えてみると、その言葉からは勇気ややる気は湧いてこず、浮かび上がってきたのは、差別されている感覚や孤独感でした。これからそういった(障害者ってえらいの)疑問について述べようと思います。

本来障害者とは、身体・精神のどちらかが一般の人間と異なっていて不便な者という意味があります。そして、その不便な者も、その者自身の障害を周りの人に手助けしてもらったり、機械を使って不便さを軽減したりと工夫し、一般の者と同じ生活をしようとしています。障害に関する機関が増えたり、障害者を見つけ、その人が困っていると思ったり積極的に声をかけ、助けようという人も増えていきます。これは僕たち障害者からすると本当にありがたいことです。ですが、その一方で障害者と聞いただけで、その人を無視したり悪口や陰口を言ったり、最悪の場合、その人が障害者だというだけで、暴力をふるったり、その人の障害の弱みをにぎっていじめやいたずらをする人もいます。どうしてこのように障害があると分かっただけで、人を傷つけるような行動をする人がいるのでしょうか。確かに僕たち障害者は一般の人より不便なところがあり、作業効率が遅くなったり、その作業をするのが難しい場合もあります。しかしその人たちは人間です。障害者にだって得意なことはあります。僕の場合、目に障害があり、細かい作業(糸通しやものさしでミリメートル単位を測ること)が苦手です。でも、初対面の人に声をかけられるのは

得意です。この長所に関して言えば、一般の人よりは少しできると思っていいます。このように、僕にも長所はあります。なので、障害者だからといって、その人のことを傷つけるのはやめてください。

次に、冒頭でも言ったように、「宮平くん目に障害があるのに〇〇しゆうとかすごいね。」みたいにほめてくれる人にも少し言いたいことがあります。それは、実はその言葉が少し僕を傷つけているということです。確かにこの言葉をかけてくれた人には、一切の悪気はなかったと思います。悪気がないどころか、その人は素直に僕を称えてくれたと思います。しかし、僕からしたら、「やっぱり障害者って差別されているんだ」といった感情や、「これって本当にすごいのかな」といった感情が残りました。なぜなら僕ができたとき、数名ですがそれができていると思いたる同い年の子がいたからです。でも、ほめられたのはその同い年の子ではなく、僕だったからです。正直僕よりその子たちのほうが努力していたと思います。だから、その言葉からは、差別されている感情や、孤独感を抱きました。

あと、僕のような障害のある人にも言いたいことがあります。それは、「なにか不満があれば、だれかに伝えたいこといい。」という事です。まだ十五年しか生きてないの言葉の重みはないかもしれませんが、でも僕は、何かを言わないと始まらないと思います。それが自分の障害に関することならなおさら、それは自分には分からないと思います。相談してみれば解決することだってあります。もし解決しなくても、心の中はスッキリしたり、なにかヒントが得られたり、結果は悪くないと思います。このように、僕たち障害者側からすると、障害者だからといって無視されたり、暴力をふるわれたくありません。

障害者だからといって、偉くなりたわけでもありません。ただ障害はあるけど、他は普通の人だと、一般の人として見てもらいたいです。それをふまえたうえで、これから障害者を見たり、周りにいる障害者と話した時に、困っている時は助け、自分が困っていたら助けを求めてみてください。悪い返事は返ってこないはずですよ。

「にこにこ市(中高等部B組) お店屋さん(幼小学部)開催

本校の恒例事業となりました中高等部B組による「にこにこ市」1月25日(金)、幼小学部の「お店屋さん」2月15日(水)を開催しました。

中高等部の「にこにこ市」は、日ごろ授業で制作した物品の販売、幼小学部の「お店屋さん」では子供たちが店員となって物品の販売を行いました。



出前授業

外部から講師を招いて、演劇やフラワーアレンジメント、読み聞かせの出前授業を行いました。どの授業も子供たちは興味関心を持って楽しい一時を過ごしていました。

その他の児童生徒の活躍

- ★ 第47回高知県教育文化祭 平成30年度高知県唱歌コンクール 独唱の部/重唱の部 優秀賞 高橋星風(小学部6年) 石建未琴(小学部6年)
- ★ 第40回少年の主張高知県大会 優良賞 萩野海羽(中学部1年)
- ★ 平成30年度高知県児童生徒表彰 その他の部(団体) 小学部 平成30年度 第25回全国盲学校通信陸上競技大会 50m高等部男子の部 第2位 宮平陸斗(普通科1年) 7秒67

お礼

7月より工事をしておりました校舎周りのブロック塀の改修工事が12月末に無事に終了しました。工事期間中は、地域の皆さまには騒音等でご迷惑をおかけしました。ご理解ご協力有難うございました。



お知らせ

- 寄宿舍及び学校の工事について
- (1) 寄宿舍
 - ・平成31年度 病弱特別支援学校の新築工事
 - ・平成32年度 盲学校寄宿舍改修
 - (2) 学校
 - ・平成31年度 体育館天井等の改修 (6月下旬～翌年1月)
 - ・平成31年度 トイレ全面改修

※地域の皆様には引き続きご迷惑をおかけしますが、ご理解くださるようお願い申し上げます。